

第3節

現状(ダム・河道整備状況)で大雨
が降ったときに想定される洪水量

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

- 整備計画の基準となる洪水型
＝昭和28年9月型
- 既往の洪水のうち被害が最大であった
- 現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

■ 洪水毎の地点別流量一覧表

洪水名	実績総雨量 (mm) (旭橋地点)	想定される流量(m ³ /s)
		草津川(旭橋)
昭和10年 8月型(台風)	202	280
昭和28年9月型(台風13号)	255	370
昭和43年 7月型(梅雨前線)	156	110
昭和46年 9月型(台風29号)	120	150
昭和47年 9月型(台風20号)	190	210
昭和57年 8月型(台風10号)	282	250
昭和60年 6月型(梅雨前線)	197	190
昭和61年 7月型(梅雨前線)	110	120
平成 2年 9月型(台風19号)	111	110

昭和28年9月型が最大となる

1. 降雨量と流量との関係

1.2 流域平均雨量と流量

■ 流域平均雨量とは

地点雨量とは、地上観測しているその地点の降雨量

解 析

1. 算術平均法
2. ティーセン法
3. 等雨量線法
4. 代表係数法

流域平均雨量とは、地点雨量を流域全体で平均した降雨量

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

■ 雨量から流量への変換

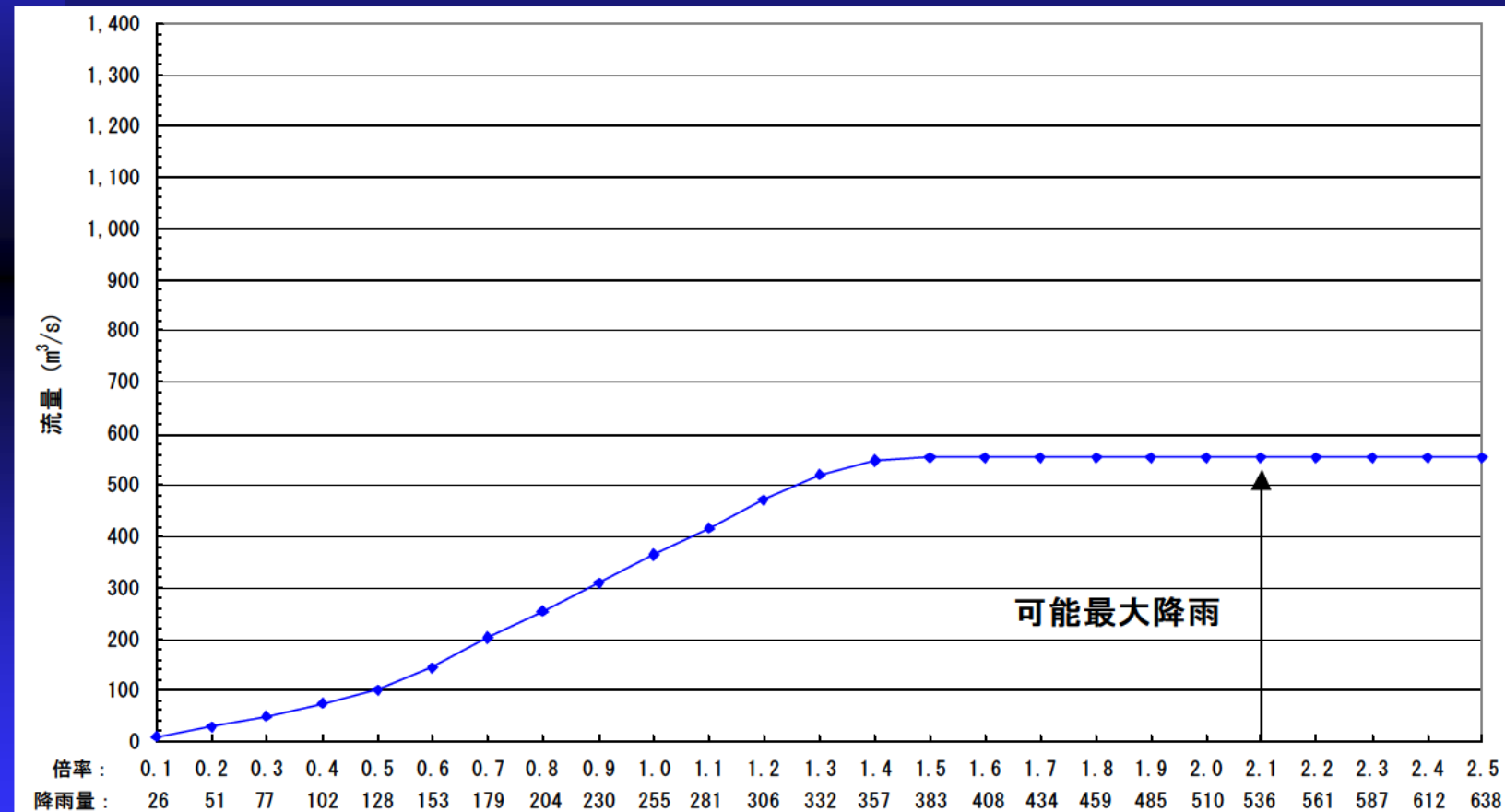
- ◆ 河道(川の中で洪水を流すことのできる部分)は現時点の状態を想定
- ◆ 上流部河道で氾濫するため下流に流下する流量は減少する

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

■ 旭橋地点(現川5.8km付近)

昭和28年9月型



- ・上流ダム群なし
- ・上流河道の氾濫あり

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

■ 可能最大降雨

過去に起こった近畿地方の降雨量から、各地域において最大限、降る可能性のある降雨量の目安を推定したもの